

東京都市大

世田谷キャンパス新2号館が竣工

設計・監理 〓 五島育英会と東急建設、施工 〓 東急建設
五島育英会 生体医工学の拠点施設に



完成した新2号館

東京都市大学を運営する五島育英会は17日、同大世田谷キャンパス（東京都世田谷区）内の旧建築学科棟跡地に建設した新2号館の竣工式を行い、学校や設計・施工関係者ら約70人が出席して完成を祝った。設計・監理は五島育英会と東急建設、施工は東急建設が担当した。

中村英夫学長は「日本には生体医工学を研究する施設はいくつもあるが、本施設はその中でも拠点となる素晴らしい施設に出来上がった。研究教育ともに大きな成果を挙げることを期待する」とあいさつ。東急建設の清水昌博取締役常務執行役員建築総本部長は「最新のデジタル設備が入るにふさわしい施設に仕上がった。アフターケアにも万全を期することにも、学生には大いに研さんの場として活用してい



中村学長



清水常務執行役員建築総本部長

ただきたい」と話した。新2号館の所在地は世田谷区玉堤1の28の1（敷地面積約2万3971平方メートル）。建築面積は約1015平方メートルで、建物はRC一部S造地下1階地上4階建て延べ約4

874平方メートルの規模。地下1階に機器分析室や化学処理室、地上1〜2階に教室、3階に実験室、4階に研究室を配置した。総事業費は19億7600万円。

新2号館は、同大の世田谷キャンパス再整備計画の一環で建設されたもので、主に工学部生体医工学科が使用する。医学と工学にまたがって行われる研究を見据え、同大では初となる手術室（施設4階）を開設した。

著作権は日刊建設工業新聞社に帰属します



五島育英会は17日、東京都世田谷区にある東京都市大学の世田谷キャンパスで建設を進めてきた、新2号館の竣工式を現地で行った。生体医工学科の関係諸室などで構成する新校舎は、日進月歩で進む研究のスピードに対応するため、自由度の高い間仕切りや改修しやすい空間構成に配慮。高度な

生体医工学の新たな拠点誕生

五島育英会 東京都市大世田谷キャンパス新2号館が竣工



清水部長



中村学長

実験・研究室を備えた、生体医工学の新たな拠点が誕生した。設計は五島育英会総合計画室と東急建設、施工を東急建設が担当した。直会（なむらい）で、東京都市大学の中村英夫学長は「旧校舎は設備などが老朽化したため、建築学科棟の跡地に新校舎を建設し

設計＝五島育英会総合計画室、東急建設 施工＝東急建設

た。フロアのレイアウトの自由度が高いため、各部屋をつなぐことでキャンパスに不足していた大教室としての利用が可能となる。学生や先生には研究に励んでもらい、この校舎が日本の生体医工学の拠点となり大きな研究成果が出ることを期待している」と話した。続いて設計・施工を担当した東急建設の清水昌博取締役常務執行役員建築総本部長は「最新のデジタル設備などを教室に導入することで、理想的な教育空間に近づけたと思う。今後は、万全を期してアフターケアに臨みたい。この校舎から次代を担う学生が育ってほしい」とあいさつした。

規模は、RC造地下1階地上4階建て延べ4845平方メートル。1、2階に教室、3階に実験室、4階に研究室や手術室などを配置している。建設地は、同区玉堤1-28-1の敷地2万3971平方メートル。建築面積は、1015平方メートル。工期は、2008年4月から09年6月。

著作権は日刊建設通信新聞社に帰属します

建設産業新聞

平成 21 年 7 月 21 日掲載

新 2 号館が竣工

設計・施工は東急建設

京都市大学
東大

京都市大学が、世田谷キャンパスにおいて整備を進めていた新 2 号館工事の竣工式が 17 日、現地で行われた。設計は五島育英会および東急建設 1 級建築士事務所、施工は東急建設が担当した。

京都市大学副学長、白本靖寛、片田敏行工学部長、清水昌博東急建設取締役常務執行役員建築総本部長の順で玉串を捧げた。

その後に行われた直会では、中村英夫学長が「生体工学の学部を持つ大学は全国にいくつもあるが、生体工学の学部の中



新 2 号館外観

でこれだけの設備を持った所は他にない。設備投資を決定された山口裕啓五島育英会理事長を始めとする関係者の皆様方に感謝を表するとともに、生体工学の分野で素晴らしい業績を上げていきたい」と挨拶。続いて清水昌博東急建設常務建築総本部長が「限られた予算をやりくりし、5 年、10 年と使い続けることができる立派な建物を整備した。このような立派な建物の建設を企画していただいた五島育英会に感謝したい」と挨拶した。

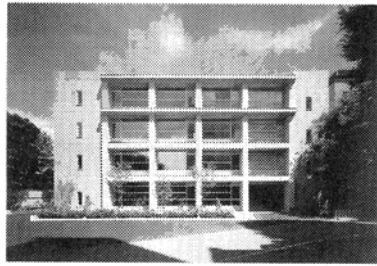
完成した新 2 号館は、世田谷キャンパス内にあり、規模は RC 造一部 S 造地下 1 階地上 4 階建て延べ 4874.65 平方メートル。総工費は 19 億 7600 万円。工期は 08 年の 5 月 1 日から 09 年の 6 月 30 日まで。主な設備は地下 1 階に機器分析室や化学処理室、1、2 階に教室、3 階には実験室、4 階に研究室を配置。同館はおもに生体医学科が使用するが、他学部も講義や実験などで利用する。

著作権は日刊建設産業新聞社に帰属します

京都市大学グループ
学校法人 **五島育英会**

東京都大 新2号館が完成

五島育英会が竣工式開く



新2号館の外観

五島育英会（渋谷区道玄坂1ノ10ノ7）は17日、東京都市大学（旧武蔵工業大学）の新2号館竣工式を行った。式典には五島育英会や東京都市大の関係者、施工を担当した東急建設の関係者らが参加、無事の工事完成を祝った。

神事に続く直会（なおらい）であいさつした東京都市大の中村英夫学長は、「4月に新たな学科としてスタートした生体医学学科の拠点となる立派な施設が完成した。最先端設備が整った施設で研

究活動を促進することで、学術的な成果を挙げ社会に貢献していきたい。また、1、2階の大教室を他の学科でも有効活用し学内の一層の発展を期待している」と語った。新2号館は、鉄筋コンクリート一部鉄骨造地下1階地上4階建て延べ4874平方メートル。地下1階に機器分析室、化学処理室を設け、1、2階が普通教室。3、4階に実験室、研究室を配置した。総工費は19億7600万円。

著作権は建通新聞社に帰属します